令和８年９月２９日

能 代 市 教 育 委 員 会
９ 月 定 例 会 会 議 録

能代市教育委員会

令和８年９月２９日、能代市教育委員会定例会を能代市役所本庁舎３階会議室９・１０において、午後２時に開会した。

○出席の委員は、次のとおりである。

教育長	高　橋　誠　也
委　員	西　村　省　一
委　員	中　嶋　佐千子
委　員	寺　田　恵美子
委　員	鈴　木　隆　宏

○説明のため出席した者は、次のとおりである。

教育部長	田　口　俊　成
教育部次長	近　藤　紀　子
能代教育事務所長	渡　辺　　真
学校教育課長	三　洲　龍　太
学校教育課参事	畠　山　公　次
学校教育課参事	大郷司　真　一
学校給食センター所長	保　坂　靖　夫
生涯学習・スポーツ振興課長	青　山　英　弘
生涯学習・スポーツ振興課 文化財保護室長	工　藤　英　子
教育総務課課長補佐	工　藤　真樹子

○オブザーバーとして参加した者は、次のとおりである。

学校教育課指導主事	佐々木　　大
学校教育課指導主事	相　沢　晶　子
学校教育課指導主事	水　沢　佑　希

○本日の会議に付した事件

日程第１　会期の決定
日程第２　会議録署名員の決定
日程第３　前回定例会会議録の承認
日程第４　教育長報告
日程第５　議　事
　議案第３８号　能代市二ツ井公民館分館運営委員の委嘱について
日程第６　その他

【日程第１　会期の決定】

○教育長

本定例会の会期は、本日１日限りとし、会議時間を午後４時までとする。

【日程第２　会議録署名員の決定】

○教育長

会議録署名員に、２番西村委員と３番中嶋委員を指名する。

【日程第３　前回定例会会議録の承認】

○教育長

異議がないので、前回８月定例会会議録を承認する。

【日程第４　教育長報告】

○教育長

前回定例会以降の行事等について報告。

９月　１日(火)　市議会定例会（～２５日　本庁舎　議場）
９月　５日(土)　木村高寛氏瑞宝双光章受賞祝賀会（プラザ都）
９月１６日(水)　能代市校長会第２回校長研修会(向能代小学校)
９月１７日(木)　教育委員会学校訪問（第四小学校）
９月１８日(金)　国民スポーツ大会壮行会（ＮＯＤＥＮアリーナ　挌技場）
９月２４日(木)　令和８年度教育条件整備等に関わる話合い
（本庁舎　会議室９・１０）
９月２９日(火)　教育委員会学校訪問（能代東中学校）
９月２９日(火)　教育委員会定例会（本庁舎　会議室９・１０）
９月３０日(水)　教育委員会学校訪問（能代南中学校、能代第一中学校）
１０月　１日(木)　教育委員会学校訪問（第五小学校）
１０月　２日(金)　教育委員会学校訪問（浅内小学校、二ツ井中学校）
１０月　５日(月)　教育委員会学校訪問（向能代小学校）
１０月　６日(火)　令和８年度「登校時一声運動」（ＪＲ二ツ井駅）
１０月１３日(火)　教育委員会学校訪問（二ツ井小学校、能代第二中学校）
１０月１７日(土)　第３２回きみまちの里フェスティバル　～１８日（日）
１０月１７日(土)　淳城南小学校創立２０周年式典（淳城南小学校）
１０月１８日(日)　第３２回きみまち二ツ井マラソン
１０月１９日(月)　教育委員会学校訪問（東雲中学校）
１０月２２日(木)　教育委員会定例会（本庁舎　会議室９・１０）

【日程第５　議　事】

○教育長

「議案第３８号　能代市二ツ井公民館分館運営委員の委嘱について」説明を願う。

○生涯学習・スポーツ振興課長

議案第３８号　能代市二ツ井公民館分館運営委員の委嘱について《資料により説明》

○教育長

異議がないので、「議案第３８号」を可決する。

【日程第６　その他】

○教育長

「その他」について

各課から報告事項や連絡事項があれば、お願いする。

○教育部長

令和８年９月市議会定例会の概要について

①文教民生委員会の審査状況について≪資料により説明≫

②予算委員会文教民生分科会の審査状況について≪資料により説明≫

③予算委員会文教民生分科会提出　令和８年度能代市一般会計補正予算資料≪説明省略≫

○教育長

質問等をお願いする。

○教育長

質問等がないようなので、報告事項等に関する質疑を終了する。

続いて、委員から本日の議事や報告事項以外で、意見等があれば発言をお願いする。

○寺田委員

日頃思うことがあり発言させていただく。

今朝のニュースで、タイムズという駐車場等の管理会社に不正アクセスがあり、顧客情報や個人情報が漏えいしたということがあった。

また、9月にＰＩＳＡによる2025年の調査結果で日本の義務教育を終えた子供たちの能力について調査報告されていたが、その中で、以前、日本の子供たちの数学的な考え方や科学的な捉え方が少し弱いというようなことを言われた時期があったが、今回の調査ではそういったことがすごく評価されており、革新分野というＩＣＴを使って問題解決を図っていく力もＯＥＣＤ加盟国の中でトップであったという報告があった。

その中で最下位だったのはＡＩを学校の授業で利用するというところであったが、ＡＩに頼らずにＩＣＴを使って問題解決を図っていく力は、日本の子供たちが素晴らしいという捉え方でよいか。

本題に戻るが、7月に読売新聞でゲーム業界のトップクラスにあるバンダイにおいて不正アクセスがあり、勝手に顧客が退会させられていたという記事があった。操作したのは当時の中学3年生男子生徒だったが、それが犯罪だということにも気づかずゲーム感覚で行われてしまっていることを問題視するものであった。

更にはイギリスのＢＢＣではＡＩの脅威ということで、今後、ＡＩが全人類を滅亡させる可能性が10％以上になってきているということが挙げられており、ＡＩの開発スピードより安全性をきちんと考えていかなければというようなことが挙げられていた。

私はいまだに何か調べるにしても辞典を使うようなアナログな人間であるが、時代から取り残されているというか、情報に翻弄されるようになっていくのではないかという不安がある。子供たちは学校の授業などで知識や技能を身に付けることができる。高校でも私のときにはなかった情報という科目や評価があり、子供たちはいいが、そうした教育を受けていない私たちは情報が氾濫する中で、どうやって学んでいったらいいのかと最近思う

ところがあった。先生方のお考えをお伺いしたい。

○学校教育課長

ご心配の点につきましてはおっしゃる通りである。新学習指導要領においてＡＩを取り入れていくことになっているため、今後、私たちも研修しながらＡＩの活用を模索していくことになると考えている。

例えば、挨拶を考えるとき、ＡＩにいろいろな情報を入れていくと挨拶文があっという間にできるが、自分で推敲する力も必要になるということを書物で読んだことがある。ただそこに投げっ放しで任せるのではなく、プラスアルファとして私たちが学び培ってきた力とあわせて、より様々な力を身につけていく時代になっていくのだろうと思っている。

先日、高校魅力化会議の中で、おそらくこれからはお金を持たない時代になっていくだろうという話題があった。スマホ等で電子決済や電子マネー、ビットコイン、株といったことについて、情報モラル教育とともに金銭教育も今後は必要になるだろうと考えている。様々な事案があり大変勉強になる。今後の学校への指導助言に活かしていきたい。

○教育長

子供たちには、いろいろなものが進展していく中で、便利さとブレーキを取捨選択していく力こそ身につけていかなければいけないと思っている。写真などをイラストに変えて加工して楽しんでいるうちはいいが、それ以外の利用については選ぶ能力を身につけていかなければいけないと考えている。

○教育長

ほかに意見等がないようなので、終了する。

以上で予定された事項は、すべて終了した。

次回の定例会は、令和８年１０月２２日午後２時から、能代市役所本庁舎３階 会議室９・１０において開催したい。

本日の定例会を閉会する。

午後２時１５分閉会